

チェコ

2021年11月15日
海外調査部・プラハ事務所

2020年の貿易は、輸出が前年比5.7%減、輸入が6.7%減と双方で縮小したが、前年に続き過去最高の貿易黒字を記録した。外国直接投資額は対外・対内ともに前年を大きく下回ったが、自動車分野では電気自動車などの生産で活発な動きがみられた。対日貿易は輸出入双方の主要品目の機械類・輸送用機器などが振るわず、輸出が10.4%減、輸入が8.1%減だった。日本からの直接投資受入額は5億6,800万ユーロとなり、EU域外では最大の投資元となった。

■輸出入ともに減少、貿易黒字額は過去最高を更新

2020年の貿易は、輸出が前年比5.7%減の1,681億6,800万ユーロ、輸入が6.7%減の1,496億3,600万ユーロだった。貿易黒字額は185億3,200万ユーロとなり、輸出の減少額が輸入の減少額を下回ったため、前年から5億6,900万ユーロ増え、1993年の共和国独立以降のユーロ建てでの最高値を更新した。

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送用機器（構成比58.6%）が前年比6.2%減となった。このうち道路走行車（部品を含む。18.9%）が11.9%減、一般産業機械・設備（6.8%）が8.4%減となり、品目全体の減少につながった。一方、事務機器（8.7%）は在宅勤務導入によるPCなどの需要増により、5.1%増となり、品目全体の減少幅を抑制した。

輸出を国・地域別にみると、全体の約8割を占めるEU（構成比79.5%）は前年比5.3%減となった。最大輸出先のドイツ（32.6%）は3.3%減だった。同国向け輸出の最大品目である道路走行車（19.1%）が6.6%減、一般産業機械・設備（6.9%）が8.0%減と減少した一方、事務機器（10.0%）は15.7%増と大幅に増加し、全体の減少幅を抑制した。EU域外では英国（4.1%）が15.1%減と大きく落ち込んだ。道路走行車（23.3%）が24.2%減と大幅に減少したことが影響した。一方、トルコ（1.2%）が18.1%増と大きな伸びを示し、ここでも道路走行車（43.2%）の影響が大きく、53.6%増と牽引した。また、韓国（0.3%）も、一般産業機械・設備（14.6%）の38.3%増とゴム製品（8.1%）の76.9%増などが牽引し、輸出全体で13.8%増と2桁の増加となった。

表1 チェコの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	105,051	98,530	58.6	△ 6.2	77,339	74,401	49.7	△ 3.8
道路走行車	36,003	31,708	18.9	△ 11.9	16,144	13,514	9.0	△ 16.3
電気機器	16,923	16,603	9.9	△ 1.9	16,703	17,051	11.4	2.1
事務機器	13,875	14,581	8.7	5.1	10,699	12,541	8.4	17.2
通信・録音機器	13,987	14,182	8.4	1.4	14,125	14,017	9.4	△ 0.8
一般産業機械・設備	12,427	11,387	6.8	△ 8.4	8,413	7,698	5.1	△ 8.5
原料別製品	25,211	23,323	13.9	△ 7.5	24,957	22,202	14.8	△ 11.0
金属製品	8,315	7,562	4.5	△ 9.1	6,352	5,687	3.8	△ 10.5
鉄、鉄鋼	4,121	3,603	2.1	△ 12.6	6,262	5,119	3.4	△ 18.3
雑製品	21,657	20,772	12.4	△ 4.1	18,902	17,715	11.8	△ 6.3
家具	3,884	3,517	2.1	△ 9.5	2,803	2,544	1.7	△ 9.2
専門、科学、検査器具	3,203	2,994	1.8	△ 6.5	2,901	2,679	1.8	△ 7.6
衣類・服飾	2,213	2,118	1.3	△ 4.3	3,048	2,977	2.0	△ 2.3
化学製品	11,638	11,620	6.9	△ 0.2	17,944	17,705	11.8	△ 1.3
食料品・生きた動物	5,474	5,801	3.4	6.0	7,325	7,360	4.9	0.5
食料に適さない原材料	3,757	3,532	2.1	△ 6.0	3,143	2,832	1.9	△ 9.9
鉱物性燃料	3,282	2,108	1.3	△ 35.8	8,726	5,378	3.6	△ 38.4
飲料・たばこ	1,401	1,493	0.9	6.5	1,239	1,104	0.7	△ 10.9
動植物性油脂	344	340	0.2	△ 1.1	259	253	0.2	△ 2.1
合計(その他含む)	178,398	168,168	100.0	△ 5.7	160,435	149,636	100.0	△ 6.7

(注) EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

(出所) チェコ統計局

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器（構成比49.7%）は前年比3.8%減だった。特に道路走行車（9.0%）の16.3%減、一般産業機械・設備（5.1%）の8.5%減が響いた。一方、事務機器（8.4%）が17.2%増と大幅な伸びを示し、品目全体の減少幅の一部を相殺した。

輸入を国・地域別にみると、全体の約6割を占めるEU（構成比59.3%）は前年比9.1%減だった。最大の輸入元であるドイツ（23.3%）は11.6%減となり、特に最大の輸入品目である道路走行車（13.2%）が18.3%減と大きく落ち込んだことが響いた。この

ほかスロバキア（4.1%）、フランス（2.9%）、オーストリア（2.7%）もそれぞれ13.2%減、12.6%減、10.5%減と2桁の減少となった。EU域外では、ドイツに次いで輸入額が大きい中国（18.1%）は6.9%増だった。事務機器（27.0%）が20.1%増、電気機器（11.5%）が15.7%増と好調だったことに加えて、布・繊維製品（2.1%）が2.5倍に増えたことが大きく影響している。なお、対中貿易赤字額は前年の231億2,600万ユーロから247億9,500万ユーロに増大し、依然として2位以下を大きく引き離して、最大貿易赤字相手国となっている。そのほか、ロシア（1.7%）は石油（33.1%）の46.4%減、天然ガス（27.6%）の51.3%減が大きく影響し、全体で42.6%減と大幅に減少した。

2021年上半期の貿易は、輸出が前年同期比23.6%増、輸入が22.1%増と堅調な回復をみせた。特に道路走行車の輸出が40.1%増、輸入が40.7%増と大幅に増加した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、2020年3月半ばからの自動車メーカーの生産停止、販売店の営業制限などで経済活動が抑制されていた前年同期に比べ、2021年は既に内需、外需ともに回復時期に入ったためとみられる。電気機器も、輸出が34.3%増、輸入が31.9%増と伸長した。ただし5、6月は半導体チップなど部品の不足から自動車生産台数が低下し、道路走行車の輸出にも影響が生じている。

■投資は対内、対外ともに減少、自動車分野では電気自動車の生産などで活発な動き

チェコ国立銀行によると、2020年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比38.8%減の55億2,300万ユーロだった。業種別でみると、サービス業が前年比37.5%減の43億6,600万ユーロと大きく減少した。そのうち、金融・保険が25億200万ユーロと6割近くを占めたが、53.8%

表2 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	141,182	133,653	79.5	△ 5.3	97,557	88,678	59.3	△ 9.1
ユーロ圏	115,567	108,964	64.8	△ 5.7	75,977	67,944	45.4	△ 10.6
ドイツ	56,780	54,890	32.6	△ 3.3	39,438	34,879	23.3	△ 11.6
スロバキア	13,507	12,827	7.6	△ 5.0	7,053	6,120	4.1	△ 13.2
フランス	9,163	7,903	4.7	△ 13.7	4,957	4,333	2.9	△ 12.6
オーストリア	7,651	6,975	4.1	△ 8.8	4,488	4,019	2.7	△ 10.5
オランダ	6,743	6,853	4.1	1.6	4,635	4,360	2.9	△ 5.9
イタリア	6,788	6,494	3.9	△ 4.3	6,580	6,067	4.1	△ 7.8
スペイン	5,717	4,176	2.5	△ 26.9	2,761	2,660	1.8	△ 3.6
非ユーロ圏	25,615	24,689	14.7	△ 3.6	21,580	20,734	13.9	△ 3.9
ポーランド	10,792	10,480	6.2	△ 2.9	12,258	11,782	7.9	△ 3.9
ハンガリー	5,809	5,554	3.3	△ 4.4	3,805	3,860	2.6	1.4
スウェーデン	2,920	2,744	1.6	△ 6.0	1,290	1,133	0.8	△ 12.2
ルーマニア	2,752	2,619	1.6	△ 4.8	2,263	2,001	1.3	△ 11.6
英国	8,031	6,815	4.1	△ 15.1	2,663	2,485	1.7	△ 6.7
ロシア	3,849	3,739	2.2	△ 2.9	4,483	2,571	1.7	△ 42.6
アジア大洋州	6,183	6,118	3.6	△ 1.1	38,821	40,914	27.3	5.4
中国	2,208	2,277	1.4	3.1	25,334	27,072	18.1	6.9
日本	881	790	0.5	△ 10.4	2,745	2,523	1.7	△ 8.1
インド	580	488	0.3	△ 15.8	821	869	0.6	5.9
韓国	410	466	0.3	13.8	3,389	3,423	2.3	1.0
ASEAN	1,013	1,021	0.6	0.8	5,232	5,694	3.8	8.8
米国	4,147	3,948	2.3	△ 4.8	4,196	3,768	2.5	△ 10.2
中東	4,091	4,042	2.4	△ 1.2	1,963	1,850	1.2	△ 5.8
トルコ	1,723	2,036	1.2	18.1	1,497	1,426	1.0	△ 4.8
アフリカ	1,970	1,647	1.0	△ 16.4	1,502	1,228	0.8	△ 18.2
メキシコ	745	780	0.5	4.7	810	794	0.5	△ 2.0
ブラジル	323	279	0.2	△ 13.5	242	184	0.1	△ 23.9
合計(その他含む)	178,398	168,168	100.0	△ 5.7	160,435	149,636	100.0	△ 6.7

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア・大洋州は、ASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] チェコ統計局

減と半減した。一方、製造業は5億8,900万ユーロで57.3%減少したものの、自動車が8億400万ユーロと前年の約11倍に増加した。トヨタとグループPSA（フランス）との合弁会社TPCA（トヨタ・プジョー・シトロエン・オートモビル・チェコ）は2020年1月、従来小型車に加え、「ヤリス」の生産ラインを新設することを発表。その後、同生産開始に向けて、総額40億コルナ（約200億円、1コルナ=約5円）を投じ、設備刷新を含めた車種追加対応、および人員増に、同年上半期より本格的に着手した。また、現代は3月、チェコ国内最初の電気自動車「コナ」の生産を開始した。さらに、シュコダ・オート（ドイツ自動車大手フォルクスワーゲン傘下）が9月、同国で初めて製造する電気自動車「エニヤックiV」の生産ライン新設に3,200万ユーロの投資を実施することを発表した。

対内投資を国・地域別にみると、EUからの投資は前年の76億200万ユーロから、35億3,900万ユーロに大きく後退した。ベルギーが前年比2.4倍の14億8,300万ユーロとなり、最大の投資元となった。

2020年の対外投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比25.2%減の27億5,800万ユーロであった。業種別にみると、全体の96.1%を占めるサービス業のうち、専門・科学・技術への投資額が10億ユーロ以上減少し、対外投資の総額を押し下げる要因となった。また製造業は4,800万ユーロにとどまり、60.7%減となった。

対外投資を国・地域別にみると、EUへの投資は前年比4.5%増の28億1,100万ユーロとなった。最大の投資先はオランダで26.6%増の9億7,500万ユーロだった。またポーランドは4億5,500万ユーロと非ユーロ圏最大の投資先となった。同国では、アコラデ・ホールディングが10月に35億コルナを投じた倉庫・物流センターの建設完了などが寄与したものとみられる。

表3 チェコの業種別対内・対外直接投資
（国際収支ベース、ネット、フロー）

（単位：100万ユーロ、%）

	対内直接投資			対外直接投資		
	2019年	2020年		2019年	2020年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
サービス業	6,990	4,366	△ 37.5	4,039	2,650	△ 34.4
金融・保険	5,413	2,502	△ 53.8	2,179	3,004	37.8
小売・卸売、自動車修理	327	1,162	255.6	△ 82	△ 489	-
運輸・倉庫	261	438	68.1	△ 271	△ 3	-
情報・通信	480	344	△ 28.5	235	△ 190	-
管理・支援	384	112	△ 70.8	△ 63	△ 5	-
専門・科学・技術	△ 808	△ 52	-	1,315	266	△ 79.8
不動産	808	△ 138	-	711	51	△ 92.9
製造業	1,381	589	△ 57.3	123	48	△ 60.7
自動車	71	804	1,027.2	110	△ 51	-
木材、製紙、印刷	314	150	△ 52.2	n.a.	n.a.	-
皮革、家具、電気機器、修理・設置	718	117	△ 83.7	△ 48	42	-
卑金属、金属製品	△ 11	57	-	△ 47	55	-
コンピューター、電子・光学製品	△ 362	△ 183	-	△ 7	7	-
電気・ガス等供給	△ 31	605	-	△ 148	25	-
農業	△ 45	35	-	△ 6	△ 1	-
農林水産業	△ 42	10	-	3	2	△ 53.1
合計（その他含む）	9,030	5,523	△ 38.8	3,688	2,758	△ 25.2

〔注〕2020年は暫定値。

〔出所〕チェコ国立銀行

表4 チェコの国・地域別対内・対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）

（単位：100万ユーロ、%）

	対内直接投資				対外直接投資			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	7,602	3,539	64.1	△ 53.5	2,689	2,811	101.9	4.5
ユーロ圏	7,068	3,000	54.3	△ 57.5	2,973	1,964	71.2	△ 33.9
ベルギー	625	1,483	26.8	137.4	△ 106	△ 2	-	-
ルクセンブルク	3,118	879	15.9	△ 71.8	△ 337	527	19.1	-
オーストリア	2,060	646	11.7	△ 68.7	6	187	6.8	3,187.7
スロバキア	142	388	7.0	173.3	482	△ 292	-	-
キプロス	585	310	5.6	△ 47.1	477	424	15.4	△ 11.2
イタリア	272	178	3.2	△ 34.5	△ 235	126	4.6	-
ドイツ	△ 907	174	3.1	-	54	△ 352	-	-
ギリシャ	1	2	0.0	200.0	1	237	8.6	23,580
フランス	188	△ 313	-	-	1,817	117	4.2	△ 93.5
オランダ	639	△ 624	-	-	770	975	35.4	26.6
非ユーロ圏	534	538	9.7	0.7	△ 285	847	30.7	-
ポーランド	△ 14	396	7.2	-	112	455	16.5	308.2
ハンガリー	281	319	5.8	13.8	179	67	2.4	△ 62.3
ルーマニア	△ 5	△ 180	-	-	△ 408	108	3.9	-
ブルガリア	6	△ 8	-	-	△ 16	209	7.6	-
英国	1,034	465	8.4	△ 55.1	741	△ 266	-	-
スイス	△ 458	386	7.0	-	235	158	5.7	△ 33.0
日本	133	568	10.3	328.5	△ 0	10	0.4	-
アフリカ	32	384	7.0	119.7	△ 90	△ 10	-	-
米国	234	192	3.5	△ 17.9	88	△ 77	-	-
韓国	△ 125	118	2.1	-	n.a.	n.a.	-	-
中国	36	102	1.8	186.5	△ 18	△ 49	-	-
中南米	△ 102	△ 39	-	-	△ 15	6	0.2	-
メキシコ	28	46	0.8	63.7	△ 1	17	0.6	-
ブラジル	△ 9	△ 0.7	-	-	△ 0	△ 0	-	-
インド	19	16	0.3	△ 15.1	△ 106	45	1.6	-
香港	55	△ 37	-	-	2	11	0.4	400
ロシア	169	△ 68	-	-	191	△ 28	-	-
合計（その他含む）	9,030	5,523	100.0	△ 38.8	3,688	2,758	100.0	△ 25.2

〔注〕2020年は暫定値

〔出所〕チェコ国立銀行

表5 チェコの主な対内直接投資案件 (2020年~2021年1月)

＜M&A 以外＞					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
飲料缶製造	ボール・コーポレーション	米国	2021年1月	1億7,000万ユーロ	アルミ缶製造工場の新規設立計画を発表。操業開始は2022年10月、最大200人を雇用の予定。
自動車	トヨタ自動車	日本	2020年1月	40億コルナ	トヨタとPSA（フランス）との合弁会社TPCAが、従来小型車に加え、「ヤリス」の生産ラインを新設することを発表。その後、2020年上半期より、同生産開始に向けて、設備刷新を含めた車種追加対応、および人員増に本格的に着手。
木材	ストラ・エンソ	フィンランド	2020年9月	7,900万ユーロ	直交集成板製造工場における新規生産ラインの追加投資を発表。生産開始は2022年第3四半期の予定。
自動車	シュコダ・オート（フォルクスワーゲングループ）	ドイツ	2020年9月	3,200万ユーロ	シュコダが国内で製造する最初の電気自動車「エニヤックiV」の生産ライン導入を発表。
車両製造	シュコダ・トランスポート・グループ	オランダ	2020年8月	4億6,000万コルナ	グループ内企業パルス・ノバ（市電・列車車両修理・開発）の工場拡張計画を発表。4年後完成予定。
自動車	トヨタ自動車	日本	2021年1月	非公表	トヨタがフランスPSAグループとの合弁会社TPCAを、トヨタ・モーター・ヨーロッパの完全子会社化し、トヨタ・モーター・マニファクチャリング・チェコ（TMMCZ）に改称。

＜M&A＞						
業種	被買収企業（事業）		国籍	時期	投資額	概要
	企業名	企業名				
不動産	レジドモ	ハイムスタデン・ボスタット	スウェーデン	2020年1月	13億ユーロ	ハイムスタデン・ボスタットは、チェコ国内最大の住宅賃貸・管理会社レジドモの買収契約を締結したと発表。
保険	アクサ・グループ	ユニカ・グループ	オーストリア	2020年10月	10億ユーロ	ユニカがフランスのアクサの中・東欧事業の買収を完了したと発表。投資額はチェコ、ポーランド、スロバキア事業の買収額を合わせたもの。
賭博	サスカ・グループ	アポロ・グローバル・マネジメント	米国	2020年11月	5億ユーロ	米国の大手投資ファンドアポロは、チェコ企業KKCGの子会社でギャンブル大手サスカへの投資を発表。
医薬品	ブラハ・ワクチンズ	ノババックス	米国	2020年5月	1億6,700万ユーロ	新型コロナウイルス対策として、ノババックスが開発中のワクチンを、2021年よりブラハ・ワクチンズにて生産すると発表。
不動産	アレテ・プロパティ	クロムウェル・ヨーロピアンREIT	シンガポール	2020年12月	1億1,320万ユーロ	クロムウェル・ヨーロピアンREITは、チェコ、スロバキア国内の倉庫・物流センター、工業団地を買収すると発表。なお、投資額はスロバキア国内資産と合わせた買収額。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 チェコの主な対外直接投資案件 (2020年~2021年2月)

＜M&A 以外＞					
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
不動産	CTP	ポーランド	2021年2月	2億ユーロ	ポーランド国内3カ所において倉庫・物流センターの建設を2021年第1四半期に開始すると発表。
不動産	アコラデ	ポーランド	2020年10月	35億コルナ	ポーランド・ブイゴシュチュ市における倉庫・物流センター建設プロジェクトの完了を発表。投資額のうち25億コルナはインフラ整備、10億コルナは建設費用に充てられた。
不動産	CTP	ルーマニア	2020年10月	5,000万ユーロ	ルーマニア・ティミショアラ市近郊において倉庫・物流センターを建設すると発表。
不動産	アコラデ	ポーランド	2020年9月	5億3,000万コルナ	ポーランド・ゴレニェフ市近郊に倉庫・物流センターを建設すると発表。
鉄鋼	モラビア・スチール	ポーランド	2020年10月	2億コルナ	2019年12月に買収したポーランド鉄鋼会社の製造設備を2020~2024年に刷新すると発表。

＜M&A＞						
業種	被買収企業（事業）		国籍	時期	投資額	概要
	企業名	企業名				
PPFグループ	メディア	CME	米国	2020年10月	21億ドル (中・東欧事業全体)	PPFは、同社オランダ法人を介して、中・東欧5カ国のテレビ事業を運営するCMEの買収を完了したと発表。
インベン・キャピタル	物流	フォルト	ドイツ	2020年11月	4,300万ユーロ	チェコ電力（CEZ）の子会社、インベン・キャピタルは、デジタルフォワードとサプライチェーンのサービスをグローバル展開するドイツの物流会社の買収完了を発表。
CTP	不動産	フォルム・セルディカ	オランダ	2020年3月	3,000万ユーロ	プカレスト近郊の倉庫・物流センターをオランダのフォルム・セルディカより買収完了したと発表。
リネット	医療備品開発	ケーピレ・ヘルス	オーストリア	2020年7月	非公表	病院用ベッド・メーカーのリネットは、人体のバイタルサインを測定するベッド用パッドを開発したオーストリアのスタートアップ企業の買収を完了したと発表。
インベン・キャピタル	ソフトウェア	エリク	スウェーデン	2020年9月	500万ユーロ	インベン・キャピタルは、エネルギー需要量モニタリング用アプリを開発したスウェーデンのスタートアップへの投資を発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■対日貿易では主要品目の機械類・輸送機器が輸出入とも大幅減

2020年の対日輸出は前年比10.4%減の7億9,000万ユーロ、輸入は8.1%減の25億2,300万ユーロであった。対日貿易赤字額は17億3,300万ユーロで、前年から1億3,100万ユーロ縮小したものの、依然とし

て中国、韓国に次ぐ3番目の貿易赤字相手国となっている。

対日輸出を品目別にみると、他に分類されない品目である金のくず（構成比36.5%）が前年比20.1%増と、前年の39.5%増に続き大幅に増加した。続く機械類・輸送機器（33.9%）は23.6%減と大幅に減少し、品目別で2位に後退した。通信・録音機器（11.8%）の32.8%減、一般産業機械・設備（7.5%）の26.8%減が響いた。また、原料別製品（5.0%）が40.2%減と最大の下げ幅を記録したが、鉄、鉄鋼（1.2%）の67.7%減が要因となっている。一方、食品・生きた動物（5.5%）はビールの原料であるホップ（1.3%）の61.2%増などが貢献し0.1%減にとどまった。なお、日本は2018年までホップの最大輸出先だったが、2019年以降、中国、ドイツに次ぐ3位に後退している。

表7 チェコの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
他に分類されない品目	240	288	36.5	20.1	機械類・輸送用機器	1,939	1,657	65.7	△ 14.5
金のくず(金を使った金属のくずを含む)	240	288	36.5	20.1	道路走行車	504	474	18.8	△ 6.1
機械類・輸送用機器	350	268	33.9	△ 23.6	電気機器	447	380	15.1	△ 15.0
通信・録音機器	138	93	11.8	△ 32.8	一般産業機械・設備	248	212	8.4	△ 14.4
一般産業機械・設備	81	59	7.5	△ 26.8	事務機器	251	198	7.9	△ 21.1
電気機器	39	37	4.7	△ 5.2	発電機器	211	149	5.9	△ 29.4
発電機器	30	28	3.5	△ 8.2	雑製品	410	387	15.3	△ 5.6
道路走行車	28	19	2.4	△ 30.1	専門、科学、検査器具	203	177	7.0	△ 12.8
雑製品	98	77	9.7	△ 21.1	その他雑製品	151	169	6.7	11.7
専門、科学、検査器具	48	40	5.1	△ 16.1	化学製品	139	254	10.1	82.9
化学製品	47	44	5.6	△ 5.1	化学物質および製品	38	137	5.4	259.2
食料品・生きた動物	43	43	5.5	△ 0.1	医薬品	20	36	1.4	84.7
動物用飼料	28	26	3.3	△ 8.1	原料別製品	238	207	8.2	△ 12.8
ホップ	6	10	1.3	61.2	金属製品	102	89	3.5	△ 12.7
原料別製品	66	40	5.0	△ 40.2	食料に適さない原料	15	13	0.5	△ 16.1
鉄、鉄鋼	29	9	1.2	△ 67.7	生ゴム(合成ゴム及び再生ゴムを含む)	14	12	0.5	△ 17.0
食料に適さない原料	36	29	3.6	△ 21.0	食料品・生きた動物	2	2	0.1	3.4
コルク、木材	30	24	3.1	△ 19.1	鉱物性燃料	2	1	0.1	△ 3.7
合計(その他含む)	881	790	100.0	△ 10.4	合計(その他含む)	2,745	2,523	100.0	△ 8.1

[出所] チェコ統計局

対日輸入を品目別にみると、全体の65.7%を占める機械類・輸送用機器が前年比14.5%減となった。電気機器（構成比15.1%）が15.0%減、事務機器（7.9%）が21.1%減、発電機器（5.9%）が29.4%減と大きく落ち込んだことによる。特記すべきは化学製品（10.1%）が82.9%増と大きく拡大した。化学物質および製品（5.4%）が3.6倍の大幅増となったことなどによる。

■日本が投資がEU域外では最大の投資元に

2020年のチェコの日本からの投資受入額（国際収支ベース）は、前年の1億3,300万ユーロから4.3倍の5億6,800万ユーロに増大し、EU域外で最大となった。個別案件をみると、外観検査装置メーカーのサキコーポレーションが2020年7月、既存のチェコ事務所を拡大し、ソリューションセンターを併設したと発表した。また、小型産業機器メーカーの大武・ルート工業が4月、同社にとって欧州初の販売拠点をプラハに設立した。主力製品であるネジ供給機の欧州市場での販路拡大をねらう。トヨタ自動車の欧州統括会社であるトヨタ・モーター・ヨーロッパ（TME、本社：ブリュッセル）は2021年1月に、フランスのグループPSAとの合併会社、トヨタ・プジョー・シトロエン・オートモビル・チェコ（TPCA）を、完全子会社化し、トヨタ・モーター・マニファクチャリング・チェコ（TMMCZ）に改称した。既述の通り、新型「ヤリス」投入に向けた追加投資も進行している。帝人も同年2月、子会社のベネット・オートモーティブ（自動車向け複合成形材料事業）におけるGF-

SMC（熱硬化性樹脂をガラス繊維に含浸させ、シート状にした成形材料）生産ラインの新設に、約1,000万ユーロの投資を決定したと発表している。また、AGCグループのAGCオートモティブ・チェコが同年3月、6億5,000万コルナ（約32億5,000万円）を投じて自動車フロントガラス製造用新規生産ラインを完成したと発表した。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：1,070万人（2020年）			
②面積：7万8,870km ²			
③1人当たりGDP：2万2,579米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	3.2	3.0	△ 5.8
⑤消費者物価上昇率（%）	2.1	2.8	3.2
⑥失業率（%）	3.2	2.8	3.5
⑦貿易収支（100万ユーロ）	7,854	9,340	10,803
⑧経常収支（100万ユーロ）	961	748	7,774
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	142,151	149,464	165,541
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	171,534	172,544	163,884
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均）	21.7299	22.9323	23.2103

〔注〕⑦⑧：国際収支ベース、⑦財のみ
〔出所〕①②④⑤⑥：チェコ統計局、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：チェコ国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシア CIS 課

ORD@jetro.go.jp